

稲刈りシーズン到来!

10月になり稲穂が黄金色に輝き、産山村でも稲刈りが最盛期を迎えました。表紙の写真は井 茂昭さん（御湯船東）の田での稲刈り（品種：あきげしき）の様子です。日照不足や台風等の影響で稲穂が倒れたり心配したが、思ったより出来がよかったそうです。

11月

No.543
2014(平成26年)



ありがとう産山のトモダチ、ありがとう日本のお父さん、お母さん

産山村にすっかり根付いたヒゴタイ交流 今年で27年目

去る9月20日（土）、福岡国際空港でホストファミリーの皆さんが出迎え、今年のヒゴタイ交流が始まりました。

10月3日（金）は早くも送別式典になり、翌4日は福岡空港で見送りして、第27回の受け入れが終了しました。空港ではいつもながらの涙の見送りとなりました。

産山でたくさんの体験をした交流生は、「産山の人々の温かさは忘れません。皆さんありがとう。」と、日本を後にしました。

今年も「料理教室」で和食を指導していただいた食育推進協議会の皆さん、着付け教室で指導して頂いた井浩子さんをはじめ多くの地域の方々にご協力頂きました。

今年は27年目を迎えた歴史あるヒゴタイ交流の深さや広がりを感じた年でした。

今、第3回交流生のリンナさんが中学校の図工室をアトリエとして創作活動をしながらか中学生と交流しています。9月1日にはタイ王国駐日特命大使ご夫妻が来校。他にもヒゴタイ交流第15回時の引率教師のソムヌック先生が休暇を利用して、当時のホームステイ先に滞在して旧交を温めたり、福岡空港でカセアート校の制服を見つけて駆け寄ってきたタイの青年が「私は第4回の交流生でした。産山のことは忘れられません。」と話かけてくれました。さらに今年末には10年前の交流生が家族で産山に訪れる予定であることを聞くなど、ヒゴタイ交流が産山村にしっかりと根付いていることを感じました。



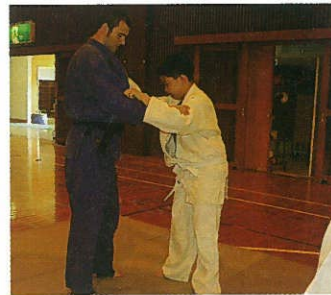
【タイ交流生の様々な体験活動】



【保育園児とも交流】



【音楽で琴の練習】



【体育では柔道も】



【折り紙体験】



【日本食の料理教室】



【浴衣の着付け体験】



【恒例の記念植樹】（運動広場）



ふるさと うぶやま会が開催されました！

～在熊産山村人会～

9月13日、熊本市において「ふるさと うぶやま会」が開催されました。

熊本市在住の村出身者が会し、郷里への思いを馳せ、ふるさと産山村が活気にあふれることを祈り始まったこの会に今年は会員30名を超える参加がありました。村からは村議や各種団体長に参加頂き、親睦を深めました。

また恒例となっております抽選会ではヨーグルトなどの産山村の特産品を参加者全員にお配りし、今回より、参加された皆さんで「ふるさと」を合唱しました。歌いながら故郷 産山村に想いを馳せて頂きとても良い会になりました。

村人会では村のPRや活力となるため会員を募集していますので、熊本市近郊に在住のお知り合いをご紹介下さい。



皆さんで声を揃えて歌いました

永久の平和を願って ～戦没者追悼式～

10月3日（金）、役場慰霊塔前において村戦没者遺族会主催の戦没者追悼式が行われました。ご遺族やご来賓など約60名が参列の中、井 正吾村遺族会会長が「世界の平和を祈り、祖国の平和と繁栄を信じてつとめ命を捧げた御霊に深く哀悼の意を表します。」と追悼の言葉を述べ、先の大戦で命を落とした112柱に参列者が玉串を捧げました。戦争を知らない世代が多い現代社会の中、多くの犠牲のうえにある命の尊さを風化させず、次の世代へと伝えていきたいものです。



「プロって、すごい！」

ルネサスバドミントン部スポーツ教室



10月18日（土）、北京オリンピック ダブルス4位入賞、ロンドンオリンピック出場の末・前ペアが所属するルネサスバドミントン部の選手3名、コーチ1名によるスポーツ教室が産山小中学校体育館で開催され、村内外から集まった53名が約2時間にわたってトップアスリートとの交流を楽しみました。

今年度から創設された産山小・産山中のバドミントン部の児童・生徒やヒゴタイスポーツクラブのバドミントン愛好会は、「プロって、すごい！」とまばたきすらためらう様子でプロのプレーに見入っていました。

最後の挨拶の際に、指導のお礼として「うぶちゃんグッズ」をプレゼント。ルネサスの選手は早速スポーツバッグに「うぶちゃんストラップ」をつけていました。

世界で戦うトップアスリートとの交流からたくさんのことを学んだ産山っ子たちが、いつの日か国際舞台上で活躍する姿を期待したいものです。

福祉サービス
センター

「ほっと館」です



産山村大和657-2
tel0967-25-2233
fax0967-25-2281

月刊誌「デイ」主催 壁画コンクールのエコ賞 とったど〜

月刊デイ主催の壁画コンクールに、ほっと館のご利用者様が作成した「福まねき」を応募したところ、エコ賞を受賞しました。不要になったタオルを切って、丸めた新聞紙をくるんで招き猫を作りました。なお作品は月刊デイの2014年11月号に掲載されています。



写真館 ほっと館敬老会



利用者作品

そばの花
真白くさかり
秋深む

うたたねの
娘にかけ毛布
秋の冷え

中山鹿 佐藤ヨシ子

ヒョタイ交流派遣生感想文

9年生 渡辺 千紘

私は3週間、タイの文化を学びました。

ワットプラケオやアユタヤに行きました。ワットプラケオは、黄金のタイルでできていてとてもきれいでした。また、日本から持ってきた金も使われていることを知り、おどろきました。タイの文化を学んでいくうちに、タイと日本は昔からつながりがあったことがわかりました。

学校生活も楽しかったです。みんな優しくて明るい人たちでした。昼休みは、他のクラスの友達と一緒にバスケットボールをしました。ホストファミリーの方も、いつも心配してくれました。3週間とても楽しかったです。



8年生 玉利 穂果

私はタイで、多くの人の優しさや他国の人たちとふれ合うことの楽しさを知りました。

また、タイの文化や食、生活、環境を知ることができました。食べ物の味付けや内容が日本とは違いました。バンコクでは、周りを見てもあまり山がありませんでした。同じところは、ブッダに向かってお参りするところです。でも日本のお寺や神社とはちがいで、キラキラしていてとても派手でした。ふだん気付かない日本の文化や食、生活、環境のよさも知ることができ、改めて両国の特徴や長所がわかりました。またいつか行きたいと思うようないい経験でした。

私たちがタイに行って帰るまでをサポートしていただいた家族や先生、村の方々、ありがとうございました。



8年生 岡田 風生

ぼくは、この3週間とても充実した毎日を過ごすことができました。

タイの人のあたたかいおもてなしを受けて、「ほほえみの国タイ」という言葉を思い出しました。みんな笑顔で出迎えてくれたり、プレゼントを笑顔でくれたり、家族全員で空港まで来てくれたりしてくれたので、タイに来ての不安が消えました。わからなくてまどっていることがありましたが、タイの人はやさしく手を差しのべてくれました。

タイには、キラキラで豪華絢爛な建物がたくさんありました。また、クロコダイルやゾウ、リスなど、日本ではあまり見ない動物もたくさんいました。

交流生が来る時には、倍以上のおもてなしをしたいです。



8年生 井 あかり

私は一度、おなかをこわしてしまい病院に行きました。「もう帰りたい」と一瞬思いました。でも、いろんな先生に「大丈夫?」と声をたくさんかけてもらい嬉しかったです。ホストファミリーにもおかゆを作ってもらいました。こんなに優しくしてくださって、ありがたいなと思いました。学校でも、場所が分からないときに友達と一緒についてきてくれて、タイの人は優しいなと思いました。

行く前からタイに行きたいと思っていて、それが叶ったのでよかったです。このような経験ができたのは、村のおかげ、家族のおかげだと思います。ありがとうございました。

人権啓発広報(11月) 一心豊かに生きるために

前回まで数回にわたり産山の小中一貫教育について紹介しましたが、今回は熊本県人権子ども集会について報告します。

ー熊本県人権子ども集会よりー

10月11日(土)、熊本市のパークドームで県の人権子ども集会が開催され、産山村から小学6年生、中学2年生と生徒会執行部が参加しました。今回は「伝える、話せる勇気、気づく力」という集会テーマでしたが、中高生の司会で、手話を伴った歌声「ピリプ」に始まり小中学校生よりそれぞれ発表がありました。次にその概略を紹介します。

1 多良木町立黒肥地小学校

この学校は、全児童131人の学校ですが、今回の発表は子ども達で構成される人権委員会の取組についてでした。その取組の様子を子ども達が劇の形で紹介してくれました。取組の内容は3つでした。

一つ目は、「人を大切にする言葉づかいをしましょう。」ということです。例えば授業で消しゴムを借りた場合は、貸してくれた人に「ありがとう。」と丁寧にお礼を言ったり、他の人に迷惑をかけたなら「ごめんなさい。」ときちんと謝ったり、相手の心を温かくするような「ふわふわ言葉」を大事にしています。二つ目は「落ち込んでいる人への温かい声かけ」、三つ目は「笑顔で元気に挨拶しましょう。」ということでした。



2 熊本県立聾学校

聾学校からは、耳が不自由なので人とのコミュニケーションが難しいけれども、自分たちは多くの人と豊かに交わりたいという気持ちが、十人余りの発表者全員から伝わってきました。また、自分たちが相手の考えや気持ちを理解するために、次のようなことに取り組んでもらえたら嬉しいという願いがありました。

- ①話しかける時などは、肩をトントンたたいて注意を喚起してほしい。
- ②できれば手話を練習してほしい。
- ③正面から口をしっかりと開けゆっくり話してほしい。
- ④ジェスチャーや筆談などを使ってもらおうと理解しやすくありがたい。

3 熊本県立荒尾高等学校

この学校からは、2年生の男子生徒が「人は変わる」ということについて発表しました。

私は中学2年生の頃、悪口を言われるなど友達から仲間外れを受け、また遅刻が多いことについて先生に注意され反抗するといった状態がありました。

そのような自分の考え方に変化が起きたのは高校生の頃、成長の機会は停学を受けたことでした。その際、先生は「はじめからやり直せば良い。」とじっくり自分をふり返る心のゆとりを与えてくれ、また同級生も温かい声を沢山かけてくれました。停学というこの機会に、自分のことをじっくり考えることができ、先生や同級生の温かい働きかけもあり、やって良いことと悪いことの判断、相手の言うことを、感情ではなく理性的に理解する大切さを学びました。

また、この生徒は自分が通う子ども会についてもふれ、自分らしく生きるためには、自分を分かってくれる仲間が重要であるということを会場の参加者に伝えたとともに、最後に人としてもっと成長できるよう頑張っていきたいと決意を表明していました。

「自分を大切にするとともに他の人も大切にすること」が、人権感覚の基本とされていますが、それぞれの発表にあるように、仲間意識の重要性や互いに支え合う気持ちの大切さを改めて感じた集会でした。参加した産山の児童生徒も自分自身や周りの状況をふり返る良い機会になったのではないかと思います。

今月のわくわくキッズは10月15日(水)に教育委員会の学校教育指導主事の平塚先生にお願いして、「科学あそび」を行って頂きました。今回は「空飛ぶおもちゃづくり」として、くまもんが動くよ、スーパー紙とんぼ、紙ブーメランの3種類を作って遊びました。

「くまもんが動くよは」パウチしたくまもんの裏にストローを短く切ったものを接着して、たこ糸を通してU字形にして両端を割り箸にセットして完成です。園児たちは器用な手つ



(保小中一貫教育だより)



科学あそびを体験したさくらぐみさん



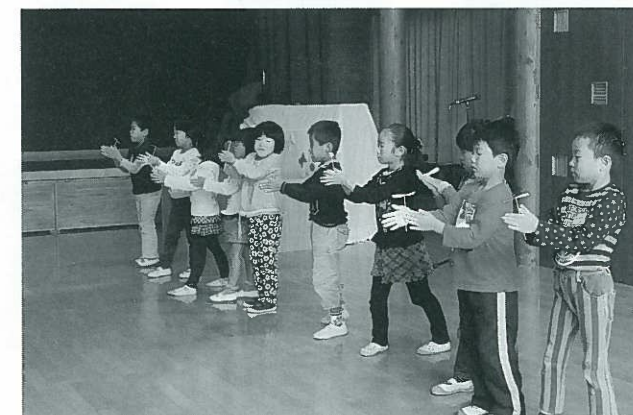
ホールで製作した空飛ぶおもちゃで遊ぶ

きでたこ糸を操作して摩擦で動くくまもんを楽しんでいました。

次はスーパー紙とんぼです。園児たちに『紙とんぼがなぜ上に飛ぶのか??』の不思議を飛行機の翼の働きからわかりやすく説明して頂きました。紙とんぼも浮力を受けやすくするために、右利き左利きで羽根を曲げました。マイスーパー紙とんぼの完成です!!

最後に紙ブーメラン作りです。長方形の厚紙に切り込みを入れて、120度の角度で組み合わせるのですが、組み合わせが少し難しかったようなので先生方に手伝ってもらい無事完成。

作った後、ホールに行ってみんなで飛ばしっこをしましたが、子どもたちに人気だったのはスーパー紙とんぼと紙ブーメランでした。ホールの天井近くまで飛んでいたり、紙ブーメランが本当に戻ってくるので、子どもたちから大きな歓声が上がっていました。まさに「わくわく」し通しの「科学あそび」でした。



飛ばしっこ比べ



制作中の子どもたち

なぜそうなるのかな? いろんな不思議を体験し、科学に興味を持つ子どもたちが育っていくといいなと思います。

最近、学校教育でこのようなハサミやのりを使ったり、細かい手作業をさせる機会が減っています。小さい頃からこのような細かな作業をさせると脳の神経回路が数多くつながり知能が発達すると言われています。小学校でも「放課後子ども教室」等でこのような機会を増やしています。

分駐所だより

産山波野分駐所

●お問合せ・連絡先●

阿蘇広域消防本部
0967・34・0024
産山波野分駐所24・2766

人事異動

平成26年10月の人事異動により、3名の職員が産山波野分駐所へ異動してきました。

平成26年10月1日付 産山波野分駐所勤務体制

消防1係			消防2係			消防3係		
分駐所長兼分隊長	北里 英幸		副分駐所長兼分隊長	※本田 雅祐		副分駐所長兼分隊長	下城 隆浩	
機関員	合志 和也		機関員	荒井 良至		機関員	※丸山 貴之	
隊員	※志賀 主麻		隊員	西村 亮		隊員	麻生 泰伸	

※は異動してきた職員です。

他署へ異動した職員
消防本部 (阿蘇市) 木村 彰宏
中部消防署 (阿蘇市) 佐藤 徹郎
桑野 駿作

秋季全国火災予防運動

11月9日から15日まで、秋季全国火災予防運動が実施されます。これからの季節は空気が乾燥し、火災の発生しやすい気象状況となりますので、火の取り扱いには十分注意しましょう。期間中は、広報のため消防車で村内を巡回しますので、ご理解の程よろしくをお願いします。

火災予防3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



健康小話



産山村診療所
林田 来介 先生

最近、NHKの大河ドラマ「軍師官兵衛」の元になった小説をお借りしました。

戦乱の世、負けは死を意味します。黒田官兵衛は世の中の流れを読み間違えずに戦乱の世を生き残りました。もしかして、世の中を動かす立場に居続けたからこそ生き残れたのかもしれない。

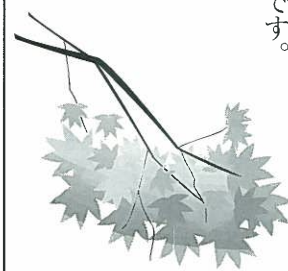
昨今、日本では地方再生なる論議が始まっています。限界集落なる言葉も聞かれます。地方の集落にとって、今が存亡をかけた戦乱の世かもしれない。

私は、産山のような里山にこそ、日本らしい文化が残っていると思っています。里山を守ることとは日本の良き文化を守ること。日本には、人と自然が共に生かしあう「共存」という文化がありました。自然からドンドン遠ざかって行く都会の生活に未来があるとは思えま

せん。介護難民という言葉もあるように、都会の暮らしの質は益々低下しています。小規模農業・有機農業のように、手間暇かけた、心のこもった医療や介護が、産山だからこそ実現できると思っています。

グローバル云々の言葉に惑わされず、産山の良さを生かして、生き残る策を自分たちで創造することが大切です。産山の良さを、村外の視点も取り入れて、もっと上手にアピールしてほしいと思います。

私は、人生のラストステージを産山で完結したいと願っています。自らが主流となつて時代を動かした官兵衛のように、今の時代を生き抜いてみたいものです。



こんにちは! ロストンです。

※この広報原稿はロストン先生が日本語で書いています。村内で会った時は、気軽に話して下さい。



Roston Willis
(ロストン ウィリス)

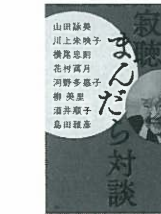
こんにちは皆さん。どんどん寒くなってきましたね。私の柔道大会が延期してしまいました。残念ですけど台風が強かったのも、しょうがないです。しかし、私のフランス人の友達が、産山に訪れてくれましたから、嬉しかったです。男性一人と女性一人、日本に観光をしにきました。その二人は日本の旅行が初めてだったので、本当に驚かされました。フランスと日本は全く違います。日本ではみんな暖かくて優しいです。友達は産山村の景色を見た時、本当に喜びました。外国の人は「日本」と聞いたら、よく東京または京都を頭に浮かべます。だから、産山みたいなところを見て嬉しかったのです。友達がそのことを言った時、私は産山にいることを幸せに思いました。



県立図書館配本図書

—新しい顔ぶれが揃ってます—

この欄でもたびたび紹介している県立図書館からの配本図書の入れ替えの時期になりました。配本図書は絵本50冊、児童書50冊、一般向け文芸書100冊、一般向け実用書(料理・手芸・健康・雑学等)100冊で構成されています。今回の配本図書の中には、ここ1年間に発行された新しい本がかなり入っています。(県立図書館さんありがとうございます!) 評判になった本もあります。2月までの期間限定の借受けなので、ぜひお早めにご利用下さい。お待ちしております。



11月の図書室開放日

第2・4土曜日

8日(土)・22日(土)

10:00~15:00

家屋の評価はお済みですか？

家屋（専用住宅・倉庫・畜舎など）を取り壊したり、新築、増改築をしますと、その翌年度から固定資産税額が変わります。家屋を取り壊したり、新築、増改築をされた方は役場総務課税務係(25-2211)までご連絡下さい。

◎ 新築した住宅には固定資産税の減額（2分の1）措置があります！ ◎

平成28年3月31日までに新築された住宅については、新築後一定期間、住居として用いられている部分の床面積の120㎡までが減額対象となります。平成27年度の減額措置の条件は以下のとおりです。

ア. 専用住宅や併用住宅であること

（尚、併用住宅については居住部分が2分の1以上のものに限られます）

イ. 床面積要件

新築時期	床面積要件
H26年1月2日以降からの新築分	50㎡以上280㎡以下

ただし、1戸建以外の貸家住宅に関しては下限面積が異なります。

ウ. 減額される期間

1. 一般の住宅（2. 以外の住宅）・・・新築後3年度分
2. 3階建以上の中高層耐火住宅等・・・新築後5年度分

減額期間が過ぎましたら、本来の税額となります。

生涯現役 無料個別相談会

熊本労働局委託・平成26年度生涯現役社会実現環境整備事業です。

再就職・起業・社会参画したい等、生涯現役をめざす55歳以上の皆様のお悩みに1対1でお応え致します。

■日時 毎月第3水曜日

10時～15時

11月19日・12月17日・
1月21日・2月18日・
3月18日

■場所 ハローワーク阿蘇

2階会議室

■対象 55歳以上の方

■問い合わせ 総合人材センター

TEL 096-223-5726

阿蘇くじゅう国立公園は、昭和9年(1934年)12月4日に国立公園に指定され、今年80周年を迎えます。この記念の年に、80年に及ぶ歴史を振り返り、風景から見た時代の歩みを、現代・次代に伝えることを目的に、80周年記念事業実行委員会主催で記念写真展を開催します。

国立公園指定以前の昭和初期(50年代)に撮影された貴重な風景写真です。80年の歴史を振り返りながら時代とともに変わった自然と

（問い合わせ）
阿蘇自然環境事務所

TEL 0967(34)0254

●ところ
花の温泉館(産山村田尻)

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

●とき
11月25日(火)～12月10日(水)

午前10時～午後8時

●お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

必ずチェック
最低賃金！

使用者も、
労働者も

熊本県最低賃金が改定されました。

時間額677円(平成26年10月1日から)

この最低賃金は、県内すべての事業所、労働者に適用されます。詳しいお問合せは、熊本労働局労働基準監督部賃金室(電話096-355-3202)又は最寄りの労働基準監督署にお尋ね下さい。

～住民課保健師よりお知らせ～

■ 季節性インフルエンザ予防接種について

対象：産山村にお住まいの満3歳以上の方

場所：産山村診療所

接種期間：平成26年11月5日(水)～12月25日(木)

受付時間：月曜日、水曜日～金曜日(火曜日を除く平日)

◇ 午前 8時30分から12時まで ◇

◇ 午後 2時30分から 4時まで ◇

自己負担：1回 1,000円 助成対象は産山村診療所のみです。

接種回数：①3歳～13歳未満 … 2回(3～4週間隔で実施)

②13歳以上 … 1回

申込方法：事前予約は不要です。受付時間に、直接、診療所へお越しください。

＜注意事項＞ *他の医療機関で受診された場合、助成はありません。ご注意ください。

*接種後、30分間は診療所で様子を見ます。受付時間を厳守ください。

*16歳未満の方は保護者同伴で、母子手帳をご持参ください。

手洗い、うがいを
こまめにしましょう！



■ RSウイルス感染症が流行しています ～冬季に流行する乳幼児の感染症～

RSウイルス感染症の症状は、軽い風邪症状から細気管支炎や重い肺炎、さらに無呼吸発作や急性脳症を起こし、命にかかわる場合や重い後遺症を残すことがあります。この感染症に対しては特別な治療がなく、対処療法のためのため予防が大切です。特に、生後6ヶ月以内のお子さんが初めて感染した場合や低出生体重児、心臓や肺などに基礎疾患を持っているお子さんが感染した場合は重症化の危険性が高まりますので、感染しないように注意が必要です。

予防のポイント

- ・流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない。
- ・外出後、食事の前には手洗い・うがいを家族みんなでいきましょう。
- ・咳やくしゃみなどの症状のある方は咳エチケットを守りましょう。
(マスクを着用する、咳やくしゃみをするときはティッシュで口や鼻をおおう)
- ・子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはアルコールや塩素系の消毒剤で消毒する。

■ 阿蘇保健所よりお知らせ ～12月1日は「世界エイズデー」です～

阿蘇保健所では「世界エイズデー」にあわせ、通常の検査日に追加して検査を実施します。検査は、無料・匿名で受けられます。検査は予約制で、結果は採血後、約1時間でお知らせします。

エイズは、HIVというウイルスに感染して起こる病気です。感染から発病まで、数年の潜伏期があり、感染していても早期に発見し治療を始めることで、発病を予防することができます。



<検査日時> ○12月1日(月)、4日(木) 午後5時～午後7時

○12月3日(水) 午後1時～午後4時

<お問合せ> 阿蘇保健所保健予防課(0967-32-0535)



http://kumamoto-dnstaff.org/bcm/

69店舗がそれぞれの美味しいヘルシーメニュー(112種類)を提供しています。ブルーサークルメニューHP

になれます。

(店舗情報は、左記からご覧になれます。)

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

■店舗とメニューについて

■店舗情報は、左記からご覧になれます。

飼犬の登録・狂犬病予防注射の実施について

村民の皆様もご存知のとおり、犬の所有者は狂犬病予防法において、生涯に一度の登録を行うとともに、狂犬病予防注射を毎年1回受けなければなりません。更に、熊本県動物愛護条例では、犬の放し飼いが禁止されています。

今年狂犬病予防注射を受けられていない飼主の皆様におかれましては、ぜひこの機会に受けられますようお願い致します。

手数料：新規登録の場合 6,000円(登録料+注射料)
登録済みの場合 3,000円(注射料のみ)

実施日：平成26年11月18日(火)	
時間	場所
9:00~9:30	田尻地区 田尻倉庫前(なでしこの里前)
9:40~10:10	産山地区 第1分団消防本部詰所前
10:20~10:50	山鹿地区 役場駐車場
11:00~11:30	南部地区 南部倉庫前(柄杓田)

ご不明な点等がありましたら、役場住民課までお問合せ下さい。
《問合せ先》 役場住民課 TEL 25-2212

「お母さんのための再就職実践コース」参加者募集!



●内容①パソコン講習

②応募書類作成方法
習得・面接対策等
のための再就職準備セミナー

③キャリアアコンサル
ティング

●会場：パレア9階会議室4
(熊本市中央区手取本町8の9)

●申込方法：「参加申込書」を取り寄せのうえ、11月20日(木)までに提出して下さい。

●定員：20名。申込み多数の場合は抽選で決定。

●申込・問い合わせ先：熊本県しごと相談・支援センター
TEL 096-351-0500

熊本矯正展を開催します

日時：平成26年
11月15日(土)

午前9時～午後4時まで
16日(日)
午前9時～午後3時まで

場所：熊本刑務所構内
(熊本市中央区渡鹿7の12の1)

入場料：無料

内容：刑務所内見学、矯正広報パネルの展示、バザー等

問合せ先：熊本刑務所
処遇部企画部門
TEL 096-362-3513



「10回全国草原サミット・シンポジウムin阿蘇」を開催します

●目的・趣旨

全国各地で取り組まれている草原保全や利活用の事例を学び合い、草原の利用・保全・活用を核にした地域づくりの新たな展望を拓くことを目的として開催致します。

●日時：平成26年11月

22日(土) オプショナルツアー
23日(日) 第10回全国シンポジウム
24日(月) 第10回全国サミット

●場所：阿蘇プラザホテル(阿蘇市内牧)

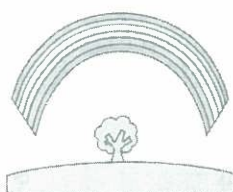
●参加申込：地元の参加申込みにつきましては、

11月10日(月)まで受付しております。参加申込み受付は、ホームページ・FAX・郵送にておこなっております。

詳細はパンフレット・ホームページにてご覧下さい。

●事務局(お問合せ先)

阿蘇市町村会 TEL 0967-22-3805
(公財)阿蘇グリーンストック
TEL 0967-35-1110



～リンナさん『作品展示会』の開催について～

現在産山村に滞在され、本村をモチーフにした作品を制作されているリンナさんの『作品展示会』を下記のとおり開催致します。

本村の児童・生徒と共同制作した作品やリンナさんの素敵な絵画が数多く展示されますので、ぜひ村民の皆様もご来場下さい。

■展示期間：11月8日(土)～11月30日(日)

■展示時間：午前9時から午後4時まで

■展示会場：うぶやま牧場 チャペル室

■入場料：無料

地デジ難視対策の各種支援は終了します お早めのお申し込みをお願いします

国が実施している地デジ難視対策のための各種支援制度は、平成27年3月末をもって終了します。期限までに地デジ難視対策を完了するためには、遅くとも本年12月中の申込みが必要です。

お問合せは、総務省地デジコールセンターまでご連絡下さい。

問合せ先：総務省地デジコールセンター 0570-07-0101

● 村民カレンダー

平成26年11月～平成26年12月

月日	曜	行 事 予 定	ゴミ収集日	診療所	歯科診療所	月日	曜	行 事 予 定	ゴミ収集日	診療所	歯科診療所
11/5	水	田尻サロン (13:30～)		○		21	金		可燃物	○	
6	木	山鹿サロン (9:30～) 生涯学習講座 (19:00～ 中学校パソコン教室)		○	○	22	土	図書室開放日 (10:00～15:00)			
7	金	第39回阿蘇郡市身体障害者体育大会 (10:00～南阿蘇村白水体育館) 就学時健診 (13:30～集落センター)	可燃物	○		23	日	勤労感謝の日 第10回全国草原シンポジウム (～24日)			
8	土	図書室開放日 (10:00～15:00) くまもと農業フェア (～9日) リンナさん作品展 (～30日) 三百年の時を超えて・・・参勤交代「豊後街道」をたどる旅inうぶやま				24	月	振替休日			
9	日	第4回うぶやまよかところ祭 (11:00～15:00)				25	火	農業委員会 (予定) 産山サロン (13:30～)	可燃物	○	
10	月		可燃物	○	○	26	水		ビンカン	○	
11	火	中山鹿・家壁サロン (9:30～) 生涯学習講座 (19:00～ 中学校パソコン教室)	ビンカン	○		27	木			○	○
12	水			○		28	金	村交通安全協会ミニバレーボール大会	可燃物	○	
13	木	中田尻サロン (13:30～) 生涯学習講座 (19:00～ 中学校パソコン教室)		○	○	29	土				
14	金		可燃物	○		30	日				
15	土	小中学校合同学習発表会 (土曜授業)				12/1	月		可燃物	○	○
16	日					2	火			○	
17	月	南田尻サロン (13:30～) 南部サロン (13:30～)	可燃物	○	○	3	水			○	
18	火	生涯学習講座 (19:00～中学校パソコン教室) 阿蘇地域育樹祭 (うぶやま牧場) 狂犬病予防注射 (9:00～12:00)		○		4	木		不燃物	○	○
19	水			○		5	金		可燃物	○	
20	木	乙宮サロン (13:30～)	リサイクル	○	○	6	土	保育園クリスマス会 阿蘇温泉郷湯ごもり祭in福岡			

◎上記の行事はあくまでも予定ですので、詳細については役場(担当課)までお尋ね下さい。

秋の季節
澄み渡った青空
さらりと肌をなでるかぜ
終い忘れた風鈴の音
黄色の夕焼け
そして、歳を重ねた
わたし...

山鹿 佐藤ヨシ子

平川 酒井 耐子

御湯船 関野 侃作

秋時雨
大蘇のダムは
寂りよう深く
湖の静けさ
(寂しうっ...ものやびしい)

うたのねの
娘にかけ毛布
夜の冷え

秋の季節
澄み渡った青空
さらりと肌をなでるかぜ
終い忘れた風鈴の音
黄色の夕焼け
そして、歳を重ねた
わたし...

ご結婚おめでとう

・進 貴斉 様
廣瀬 友美 様 (柄杓田)

赤ちゃんこんにちは

・井 英大 ちゃん (上山鹿西)
父 英樹様 母 千景様
・井 彩加ちゃん (東田尻)
父 俊介様 母 ゆり様
・筑紫 陽大ちゃん (杖木原)
父 俊一様 母 舞子様

お悔やみ申し上げます

・岩下 百年 様 10月9日没 (中山鹿)
・高橋 繁子 様 10月15日没 (中山鹿)

■産山村人口の動き(10月30日現在)

男	857人
女	766人
合計	1,623人
世帯数	616戸
男 出生 2人	死亡 2人
転入 1名	転出 1名
女 出生 1人	死亡 1名
転入 2名	転出 1名

肉がとてもやわらかくて、食べやすかったです。それに野菜ととても合い、自分の中では100点でした。

レポーター
7年生 西村 伊織さん

学校給食 探検

こんにちは♪
秋も一段と深まり、紅葉が目を楽しませてくれる季節となりました。これから寒さが本格的になりますので、しっかり食べて体力をつけ、風邪をひかない丈夫な体をつくりましょう!!

産山給食センター 栄養教諭 上月 直美

レシピ No.7 ☆変わりきんぴら (4人分)

材 料	分 量	作 り 方
牛肉	160g	①材料を切る。
じゃがいも	320g	じゃがいも...拍子木切り
揚げ油	適量	にんじん...千切り
にんじん	100g	ごぼう...千切り
ごぼう	120g	たけのこ...細切り
たけのこ	80g	しらたき...下ゆで→カット
しらたき	100g	②じゃがいもを素揚げする。
グリーンピース	26g	③フライパンに油を熱し、牛肉を炒める。
ごま	大さじ1	④肉の色が変わったら、にんじん、ごぼう、たけのこ、しらたきを入れて炒める。
三温糖	大さじ1	⑤調味し、②のじゃがいもを入れて混ぜ合わせる。
こいくちしょうゆ	大さじ1	*じゃがいもを入れた後は混ぜすぎない!(じゃがいもの形がくずれてしまうので)
うすくちしょうゆ	大さじ1	⑥最後にグリーンピースを入れてできあがり☆
みりん	小さじ2	
七味唐辛子	少々	

お肉や野菜をたっぷり使ったきんぴらです!!
いろいろな種類の食材を使うことで栄養満点です。
冷めてもおいしいのでお弁当のおかずにもピッタリ♪

一般質問

○第三セクターについて

本郷 水城議員

平成3年より、村の観光施設の管理運営をしてきた第三セクターも20年以上が経ち、この間観光客の減少などのため経営が悪くなるたびに、いろんな対策を講じてきたと思う。

また、花の温泉館は湯量の減少及び配管の老朽化を考え温泉掘削、御湯船温泉館は村内巡視で各施設とも老朽化が見られ、今後は優先順位をつけ改修が必要と思われる。

3月議会で山本議員の質問に対し、村が造った物を止めるも進むも非常に難しいと述べているが、経営効率の悪いところなどは廃止を含め見直す時期が来ていると思う。村長の考えを伺う。

村長

事業の効率化を推進しながら、製造、経営改善を行なうと共に、今後のあり方を他の町村の事例も参考にしながら検討を進めていきたいと思います。

そこで、専門家、学識経験者、いろんな方々に入っていたいただき検討する委員会を設置するよう、今事務方にお願いをしている。どう進めていくか非常に難しい状況であるが、まだまだ経営努力すれば改善する部分

もあるのではないかと望みを持っている。産山村の自然環境、特産物を生かしながら観光の推進と併せて取り組んでいかなければならないので、慎重に検討しながらやっていきたい。

○農業政策(有機農業の推進)について

志賀 英昭議員

昨年、阿蘇は世界農業遺産に登録された。これは、原野を中心とした持続的農業が認められたものである。7月19日産山でも東京大学の梶谷准教授と共に世界農業遺産を考える会が開かれた。過去に登録された日本の2地域では、農作物のブランド化も進められている。農業政策の中で、有機農業をどのように位置付けられているのか、また昨年12月質問への「えひめA1」の実証実験の答弁があったが、その後有機に対する研究成果はでているのか聞く。

村長

村では、豊富な水を活用した稲作と、広大な草地を活用した畜産の複合農業が営まれている。家畜の排泄物は堆肥となつて、農地に還元される循環型農業が行なわれている。有機質の資材の活用や化学肥料の低減技術に取り組む生産者は、県推進の「熊本グリーン農業生産宣言」により「エコファーマー」

に23名が認定されている。また堆肥の利用を推進するために、山鹿酪農に堆肥生産施設を整備し、堆肥は施設園芸農家等に販売され野菜栽培に利用されている。「えひめA1」についてであるが、A1の購入を大量に使用すると経費がかかるので、実際製造している方を招き製造方法等を研修し納豆菌を利用した環境浄化微生物を自家製造し、山鹿酪農で試験的に実施しているところだ。堆肥に散布することと合わせて、飼料や使用環境等の改善を行なうことにより、一層の効果が得られるとのことだ。現在試験段階であり十分な結果は得られていないが、引き続き製造散布を行なっていく意向だ。良い結果が出れば普及していきたい。また循環型の農業をするためには、畜産農家の育成も急務であると考えている。安全安心な野菜を供給していく立場から、産山村はブランド化を目指しているか

ねばならない。現在やっているものを着実なものにするため、研究を含め推進していきたい。

志賀 英昭議員

「南九州の野菜」としてネット販売をしていくのに、阿蘇の野菜を加えていきたいということ、産山村でも10軒ほどの農家に協力してもらっている。産山村の品を求める方は、結構いる。ブランド化を方向づけるた

めには、いろいろなところにアンテナを張って進めてもらいたい。また農産物を製品化し販売していくという6次産業化が必要だが、加工施設がないという十分な状態である。特定の団体だけが利用するのではなく多くの人が開発を進められるような、例えば旧山鹿小のランチルームなど新たな加工施設の設置等が必要でないか。6次産業化は、村長の公約の一つと思うが、6次産業化の方向性について尋ねる。

村長

産山村では、漬物やブラックベリーなどやっているが6次産業化が定着している分は少ない。たくさんの特産品を利用した6次産業化を今後進めていかねばならない。そのためには、技術を持った者の育成が急務でないかと思う。生産と共に販売していく人材も育成しなければならぬ。行政が一体となって取り組んでいくべき大きな課題である。特に産山では農産物に付加価値を付けていかねばならない。

経済建設課長

加工施設については、製造する品目ごとに許可がいるようになっており、現段階では難しいと思うが、今後検討していきたい。

志賀 英昭議員

利用者が衛生管理者等の資格が必要なのは当然だが、施設の確保は6次産業化のためにはやってもならなければならぬ。また販売先の確保が必要であり、そのためにはどんな情報を集め、どんな情報を発信していくか研究してもらいたい。

○平和教育と国際理解教育について

志賀 英昭議員

小学校での修学旅行先を長崎そして中学校の修学旅行先を沖縄と、長年平和教育を進めてきた。8月の成人式で、彼らが沖縄での体験を文化祭で劇にして演じた映像を見ながら平和教育の根付きを感じた。また国際理解教育においても、ヒゴタイ交流を25年以上も続けており、国際理解教育も定着している。ただ交換留学生が記念行事時を除き4名と限定されることや受験との競合と時期的な面での批判もある。9月17日台湾の戒総領事が産山村を表敬訪問した。これは、8月の阿蘇くまもと空港マスコットあそら君生誕5周年として国際小学生ダンスフェスティバルが開催され、台湾の2つの小学校が参加し産山村を訪れた際の村長と教育長の対応への謝礼の意味もあった。戒総領事のお互いの交流人口を増やしていくという話の中で台湾教育旅行マニュアルも教育長に手渡

された。熊本県も高崎市との連携で補助金を出している。全ての生徒に国際理解教育の体験という意味で、修学旅行先に台湾も検討頂けないか。

された。熊本県も高崎市との連携で補助金を出している。全ての生徒に国際理解教育の体験という意味で、修学旅行先に台湾も検討頂けないか。

村長

中学校の修学旅行先が、昨年は大阪・京都と保護者と協議しながら変わってきた経緯もあるが、二貫して平和教育など考慮し候補地を選定してきた。台湾とは、歴史的にも文化的にも非常に近い関係にある。国際理解については、タイとの交流が27年間続いており、核としての取り組みがいろいろな面で効果を上げていっていると思う。台湾と交流が、産山でどのようにできるかは、今後検討していく課題だ。未来を担う子供たちを育てるためには、いろいろな形の教育があると思う。教育長からも意見を述べさせる。

教育長

国際理解教育および平和教育については、現在学年に応じて各教科・領域、全ての教育活動において、系統的に計画的に進められている。国際理解教育は、自国・他国の伝統や文化を正しく理解し、尊重する態度を育成するという大きな狙いがある。修学旅行は、それを体験的に学び、知識を知恵に変えていくという意味で、大きな学習と認識している。国際理解教育をタイ

とだけやっていけばいいというのはなく、ヒゴタイ交流を国際理解教育の大きな柱と捉えている。修学旅行先の選定にあたっては、旅行先が学習の狙いになっているか、経費が保護者への過度な負担になっていないか、児童生徒の安全、身体的な負担にならないか、日程は適当であるかなどを考慮し、保護者の理解を得ながら選定していかなければならない。

台湾については、海外ということもあり検討を重ねる必要がある。どの国との交流についても、自分の所を知るという意味で何らかの方法が考えられると思う。検討していく。

志賀 英昭議員

ヒゴタイ交流については、昨年随行団としてタイに行き、その成果も感じた。また今回タイから県の文化事業として来日し、アーティスト活動をされている。A1の先生も含め国際理解教育は進んでいると思う。地元産山を知るという意味での産山学があり、それから阿蘇・熊本、日本と、国内を知った上での国際理解教育とされている。単に修学旅行というのではなく、台湾を理解するという教育をどこかで見つけて頂ければ十分である。

○第三セクターについて

志賀 英昭議員

三セクの各施設について検討

委員会を設立するという先ほどの答弁と重ならないよう質問する。前村長は、三セクの存在意義として村民収益の場と村民雇用の場をあげていた。村長は、第三セクターの存在の必要性をどのように考えているのか、雇用の場として考えを持っているのか、あれば、村民からの雇用をののか、村民外もいるのか尋ねる。

村長

第三セクターは、当初産山村に施設をつくることによつて活性化を図るという大きな目的があった。現在その役割が十分果たせていない。時代の流れ等によつて社会状況も変わって来ている。その中で村民雇用の場であることは間違いなく就任して10ヶ月、いろいろな角度から三セクを見てきた中で、従前からのことを改革するのに非常に決断の要ることを痛感している。中身を精査検証し今後どうするか大きく考えていく時期に来ていることも、自覚している。温泉館の問題についても地域の方の力を十分に頂いていないこともある。今回議会からの意見も真摯に受け止めながら前に進んでいきたい。事業の推進に当たっては、検討委員会等で分析しながら取り組んでいきたい。人員数については、担当課に説明させ

志賀 英昭議員

取締役の配置を、資金・営業・人事と配分されている。これを製造部門・宿泊接遇部門・営業といった三分割にするよう株主総会で提案しているが、意見が取り入れられていない。10月サウジアラビア王国大使館勤務のハキマ女史が産山を訪れる。池山水源の水の良さも海外へ発信して頂く。将来を見越した検討を行っていたきたい。

企画振興課長

第4回産山村子どもヘルパー活動

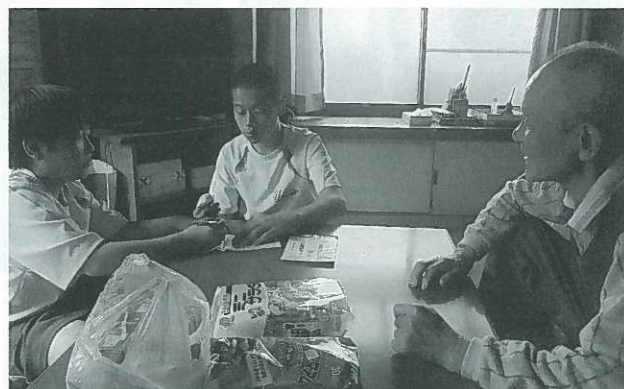
10月20日(月)、「第4回産山村子どもヘルパー活動」を実施しました。今回の活動では、独居世帯3軒と、なでしこの里・ほっと館を訪問し、訪問先の希望に応じ、窓拭きや掃除等のお手伝いをしました。

また、なでしこの里・ほっと館では、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒にゲームしたりお話を交流会をしたりと盛り上がりました。

村内の独居世帯・高齢者二人世帯の皆さん、草取りや掃除で困っている方がございましたら、一度この活動を利用してみてはいかがでしょうか？ご遠慮なく社会福祉協議会(電話23-9300)までご連絡ください。



お手伝いの様子



お話タイムの様子

第8回阿蘇郡老人クラブ連合会パークゴルフ大会

10月23日(木)、本村のパークゴルフ場において、阿蘇郡老人クラブ連合会主催のパークゴルフ大会が開催されました。当日は、阿蘇郡内より約100名の選手が参加され、本村老人クラブからは18名が出場されました。

秋晴れの中、熱戦が繰り広げられ、本村は団体戦において男女ともに準優勝、個人戦では志賀千恵子様が準優勝され優秀な成績を残されました。選手の皆様大変お疲れ様でした。



選手宣誓の様子



プレーする様子



表彰式の様子(男性の部)



表彰式の様子(女性の部)



施設見学の様子



事業説明の様子

10月8日(水)、産山村民生委員児童委員協議会(井昭光会長他5名)では、委員の意識向上を目的に研修会を実施しました。今回の視察先は、植木健康福祉センターかがやき館において、「健康づくりと商業活性化運動」の事業等についての研修を受けました。事業の説明を株式会社くまもと健康支援研究所の松尾代表取締役様、職員の方から頂き、とても有意義な研修会となりました。

今回の研修会で学んだことを今後生かしていきたいと思えます。

平成26年度産山村老人クラブ連合会パークゴルフ大会

10月15日(水)、本村パークゴルフ場において、平成26年度産山村老人クラブ連合会主催のパークゴルフ大会が開催されました。この日は、村内より36名の選手が集まり、選手の皆さんは日頃の練習の成果を発揮していました。大会に出場された皆様、大変お疲れ様でした。

また、この大会は10月23日に行われた阿蘇郡パークゴルフ大会の予選を兼ねており、本村からは18名の方が選手として出場されました。



大会の様子



大会の様子

社協に寄せられた善意の寄付【10月分】

毎月、「福祉のためにぜひ役立てて下さい。」とたくさんの善意をお寄せ頂いております。その主旨にそうべく「地域福祉発展」のために、有効に活用させていただきます。

【香典返し】

・岩下 徳行様より (中山鹿) 故) 百年様分として
・高橋 國男様より (中山鹿) 故) 繁子様分として

【寄付】

・佐藤 正博様より (乙宮)

～心から感謝申し上げます。ありがとうございました。～



社協だより

平成26年

第245号

発行者

産山村

社会福祉協議会

☎23-9300

ふれあいで、育てよう
ふくしの心

われら学校応援隊!

学校支援地域本部事業



稲の成長や稲刈りのしかたについて教わりました。



今年も登下校指導をお願いします。

5年生では、年間を通して、米作りに関する作業支援をして頂いています。



中学生は浦安の舞やヒゴタイ太鼓も指導して頂いています。



昔の道具について教えて頂きました。



地域で子ども達を育てるために

子どもは地域にとって大切な存在です。

産山村では、地域全体で子ども達を育てる「学校支援地域本部事業」に取り組んでいます。この事業では地域の方が学校の中で、具体的な支援活動を行うことをとおして、地域の連帯感を図ると共に学校と地域が互いにもつ教育機能を補い合って、子ども達に「生きる力」を育んでいくことを目指しています。子どもも学校も地域もみんなが笑顔になれるそんな協育を行っています。

今回は、その活動の一部をご紹介します!

「学校に関心があるけど・・・」「子ども達に関わりたいけど・・・」と思っているみなさん!ぜひ教育委員会まで一度お問い合わせ下さい。

子ども・ジュニアヘルパー事業では、地域の方々とふれあい交流事業を行います。